

おれんじの屋根

施設長より

「教育と福祉の橋渡しをしたい」～育成会の出前講座～

熊本市手をつなぐ育成会では、2つの出前授業を行っています。今回はそのご紹介を。

1つは、会長や理事・評議員、会員さんによる「くまぐま隊出動」!! 『子ども達はどんなふうに見える? 感じる?』です。知的障がいや発達障がいの人の障がいの特性や困り感を疑似体験をとおして理解を図るべく、学校をはじめ各所に出向いていますが、依頼は着実に増え、熊本市内だけでなく県内各地の小・中学校、高校などにも出向くことが多くなり、また、近年では警察学校や民間の事業者などからも依頼があっています。

もう1つは、私と内容によっては相談支援専門員も一緒に出向く、「卒業後の進路、福祉サービス情報提供」です。熊本市の育成会は、親の立場や視点を持つことに加え、教育にも福祉にも軸足を置いていて、教育を終えて福祉サービスを利用する親さんがいる、さまざまな福祉サービス事業所を運営、さらに、教育と福祉の両方を知る特別支援教育経験者もいるなどの強みや特色があります。この強みを活かして、学校と家庭/教師と親御さん/教育と福祉/学校と福祉サービス事業所などの「橋渡し」をしたいと考えています。

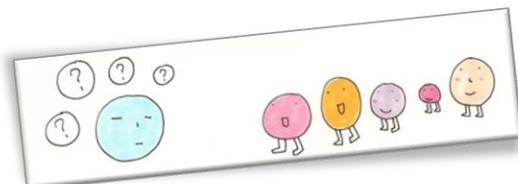
学校などに出向いて、PTA研修や職員研修会などで、学校卒業後の進路や生活、福祉サービスのことなどを、小・中学校、特別支援学校などの校種や対象の学部、保護者か先生方かなどの違いに応じて、例えば、対象が小・中学校の保護者や先生方だったら、特別支援学校の高等部の教育内容を多く入れたりと変化をつけるようにしています。また、話の中では、例えば、今、障がい福祉の

分野では障がいのある人の意思決定が非常に重視されているが、これは幼少期からの家庭や学校教育の中で特に大事にするべきことで、選ぶ・決めるといった経験を日々の生活や学習活動の中でたくさん用意してあげることが重要、また、進路を考える際は、どんな人生であれば、その人が豊かに、幸福に生きていけるか? そのためには、その人の人生や一生を考える視点が大切です、といったこともお伝えしています。

私は、特別支援学校時代、高等部での勤務が長く進路指導主事もしていたことがあり、障がい福祉には割と関心を持って情報収集をしていました。が、障がい福祉(や就労)の世界は、3年に1度の改定で新たな制度が次々に登場するなどあって、外からは、実際のところの理解がなかなか難しいという印象を持っていました。

なので、保護者や先生方が必要とする卒業後の生活の様子、障がい福祉の制度や動向に関する情報を分かりやすくお伝えすることによって、1人でも多くの生徒さんや保護者の不安を軽くして、安心して社会に進むことができればと願っています。

これらの取り組みは、育成会としての、社会福祉法人に求められている「地域における公益的な取り組み」の一つだと考えています。熊本市の出前講座にも登録しており、費用は交通費や資料代を含めてすべて無料ですので、ぜひご活用ください。



書き遊ぶ 「労働」

一時期、世界的に人気を博した『ダウントン・アビー』という英国ドラマがあります。1900年代初期からの貴族の家庭ドラマですが、家族の会話の中でこの三女が知らない言葉を耳にしたので尋ねました。「労働って何のこと?」これこそが貴族の証明なのです。大地主だから働く必要がなかったのです。しかし、第二次世界大戦後多額の借金に堪えられず没落していきました。

さて、コロナ禍のためテレワークなど労働環境に変化が現れました。障害や病気などで働けない人もいます。生活安定のため会社などの組織の中でじっと我

ゆうゆう会会長の瀬上です。この一年ご協力ありがとうございました。12月にしょうぶの里とピネル記念病院小笠原先生にお歳暮をお贈りしました。

慢している人もいるでしょう。そんな中、生き生きと自分の力を発揮できる天職に巡り合えた人はさぞ幸せでしょう。

ニュースで金に困り自暴自棄に陥って闇バイトで他人に害を与える人の事件を見るたびに、それまでの人生の中で、「君にこんな職業が向いているんじゃないかな」とか「うちで働いてみませんか?」という人に出会えなかったのだろうと残念でなりません。

それって不運です。



今号は、残念なことに施設内で新型コロナに罹患された利用者さんがいらっしゃるため、12月の行事が中止になりました。そこで、今回はもうすぐやってくる《お正月》についていろいろ学びたいと思います。



【お屠蘇】

正式名称は「屠蘇延命散」といい「悪鬼を屠り、死者を蘇らせる」という意味があります。元旦にお屠蘇を飲むと一年中の邪気を除き、家内健康で幸福を迎えると言われている。

古くからの風習で熊本のほとんどのご家庭でお正月のお屠蘇に熊本地方特有の赤酒が使われています。「赤」というおめでたい色も手伝ってお屠蘇やお神酒などの慶事の儀式酒に用いられているようです。

子どもの頃から唯一、口にできるお酒でした(^_^)



【おせち料理】

…「御節供（おせちく）」という神様に捧げる料理 代表的な食材とその意味を紹介します。

- 田作り…カタクチイワシの稚魚のごまめの飴炊き。作物の豊作を願う。
 - 数の子…ニシンの卵の子孫繁栄を願う。
 - 伊達巻…書物（巻物）に似た形をしているので知識が豊富になることを願う。
 - 黒豆…まめに元気に働けますようにとの願い。
 - きんとん…「金田」と書くもので財宝を意味している。
 - 昆布（こぶ）巻き…「よろこぶ」という言葉が同じ音になることからおめでたいものとされている。
 - なます…大根の白さから心清らかな生活、また一家が地に根を張って栄えるようにとの願い。
- などなど、他にもいろいろありますが、最近の我が家のおせち重の中身は「数の子」「旭巻き」「辛子蓮根」「唐揚げ」「海老」「ローストビーフ」等々おせちというより酒のつまみですね…



給食室より

1月 イベントメニュー

- 8日(水) リクエストメニュー
- 15日(日) リクエストメニュー
- 22日(水) 誕生会
- 29日(水) 手作りおやつ



冷えは万病のもと

体温35.5～36.0℃以下は低体温といわれています。原因にはストレスや筋肉量の減少、長時間の低温環境など様々です。

低体温は免疫力も低下します。身体を温める働きのある発酵食品や根菜、温かい汁物などを心がけてメニューに取り入れましょう。

たんぱく質も体温を上昇させるため、卵や納豆、みそ汁、焼き魚などの和食メニューがおすすめです。

管理栄養士 厚地

医務室より

今年の8月に利用者さんにコロナ感染者が出て、9月初旬にやっと通常の生活に戻りホッとしていたのも束の間、12月に入った途端、利用者さんに再びコロナ感染者が…今現在も進行中で感染者が増えています。8月に感染した方も今回また感染されています。

高熱を出される方はごくわずか、ほとんどの方は発熱はなく咳や鼻水といったちょっとした風邪症状の方が多いようです。

年末年始が近いので、早く収束して皆さん元気に過ごされるようになればと思っています。

《健康に気をつけたい年末年始の過ごし方》

年末から年始は何かと忙しく体調不良になった経験のある方が多いのではないのでしょうか？そんな「正月疲れ」の対処法をいくつか紹介します。

- 飲み過ぎ、食べ過ぎに注意！胃もたれ、胃痛の原因に…
- 栄養の偏りに注意！ビタミンやミネラルを多く含む野菜を摂りましょう！
- 不規則な生活に注意！体内時計がずれ、眠気、だるさ、食欲不振を起こします。
- 寒暖差に注意！自律神経が乱れやすくなり体調不良の原因…十分な睡眠、バランスの取れた食事、適度な運動、湯船につかるなどは効果あり。お試しあれ！

《1月の行事予定》

- ☆ 6日(月) 訪問リハビリ
- ☆ 7日(火) 口腔ケア 吉村さんのお話し会
- ☆ 9日(木) 訪問歯科
- ☆ 13日(祝日) 成人の日
- ☆ 14日(火) ミールラウンド
- ☆ 16日(木) 訪問歯科
- ☆ 20日(月) 職員研修会 訪問リハビリ
- ☆ 21日(火) 口腔ケア
- ☆ 22日(水) 誕生会
- ☆ 23日(木) 訪問歯科
- ☆ 27日(月) 職員会議・給食委員会 訪問リハビリ
- ☆ 28日(火) ミールラウンド



※予定ですので変更になることがあります。ご了承ください。

～編集後記～

一年あつと言う間でした！今年は何年だったか振り返ると…結構充実していました。推しのイベント13,000発の打ち上げ花火を見に行ったり、真夏の野外フェス(2日間)に行ったり、数カ月に一度の割合で古い友人たちとの時間無制限食べ放題ランチでのおしゃべり等々よく笑い、よく食べたなあ(*.**)

来年はすでに楽しみが2つ待っています。楽しみがあるということは前向きになりますね！(仕事に対しても)

来年もよろしくお願いたします。

～第92号～

令和6年12月25日発行
発行元 しょうぶの里
熊本市西区小島9丁目14-58
Tel (096) 311-4588

